

羅針盤

大切なスタート！

POINT!

安心感のある学級（HR）づくりのために!!

4月は、進学や進級により、学習環境や人間関係など子供たちを取り巻く環境は大きく変化します。そのため、新しい学校・学級（HR）に期待を膨らませる一方で、不安を大きくする時期でもあります。教師は、学校・学級（HR）に対する子供たちの安心感を高めていくことが大切です。そこで、4月から学校全体で取り組みたいことを紹介します。



「学級（HR）のルールづくり」

【目標・ルールを決め、一貫した指導を行う】

- 目標づくり
- 係の仕事の約束事
- 班活動の進め方
- 授業での約束事
- 机やロッカーの整理整頓の仕方

【目標・ルールの視覚化】

☆目標やルールを理解しやすいように、望ましい姿を掲示し、視覚的に意識させよう！

【学級通信の活用】

☆学級（HR）の目標や約束事が、保護者にも分かるように通信を活用しよう！

「子供同士の間関係づくり」

【子供同士がつながる場を設定する】

- 仲間とふれ合う機会の保障
- 学校行事等の活用
- 意図的なエクササイズの実施
(ソーシャルスキル教育・グループエンカウンター等)

【授業の中で交流】

☆短時間でも、ペアやグループで交流する活動を授業の中で設定しよう！

【肯定的評価】

☆行事やエクササイズでは、行動や感情に焦点をあてた振り返りを大切にしよう！（ルールとリレーション）

「話しやすい雰囲気づくり」

【一人一人の子供に寄り添う】

- かかわりは、教師から（名前を呼んで…等）
- 準言語・非言語（表情、声の調子など）の活用
- 客観的理解と共感的理解による児童生徒理解

【教師への信頼感】

☆廊下ですれ違う時は、ゆっくり歩き、子供に優しく視線を送るなど、子供が話しかけやすい状況をつくらう！

【傾聴の姿勢】

☆子供たち一人一人の声に耳を傾け、子供の気持ちを感じ取り、適切な支援につなげよう！

「保護者との関係づくり」

【丁寧に情報共有を行う】

- 日頃からの情報共有（学校・家庭の様子や思い）
- 休み始めの丁寧なかかわり（欠席3日目まで）
- チーム支援体制による行動連携（SSW・SCの活用等）

【家庭とのつながり】

☆日頃からの情報共有で、保護者との信頼関係を築き、保護者にも安心感を与えよう！

【電話連絡・家庭訪問】

☆欠席の背景には新しい環境への不安や戸惑いが隠れているかもしれません。家庭での様子を丁寧に聞き取ろう！



これらの取組を学校全体で意図的に行い、安心感のある学級（HR）で子供たちを温かく見守っていきましょう。